

平成28年
熊本地震

水道施設に甚大な被害 東京都からは4班が出動

4月14日(木)午後9時26分に発生したマグニチュード6.5の地震に続き、

16日(土)午前1時25分に発生したマグニチュード7.3の本震とされる地震により、熊本県内では最大43万戸が断水した。その後もマグニチュード3.5クラスの余震が続く中、日本協の枠組みを通じて各事業体から応急給水、応急復旧等の支援が続いている。これまで

施工業者の派遣は、九州地区から行われてきたが、断水状態の早期解消を目指す厚生労働省の強い意向もあり、24日(日)に

日本協より同協会各地方支部長に対して、熊本市からの要請として計33班の派遣が要請された。これに基づき同日、東京都經由で当組合に対して出動要請があったもの。

今回東京都から第1次応急復旧隊として出動したのは、水道局との防災協定締結4団体から1班ずつ計4班。当組合から

(株)みやび管工(練馬西)の他、三多摩管工事協同組合から(株)松田設備(町田)、協同組合東京都水道請負工事連絡会から(株)森田工務店(中央)、東京都水道事業者協会から

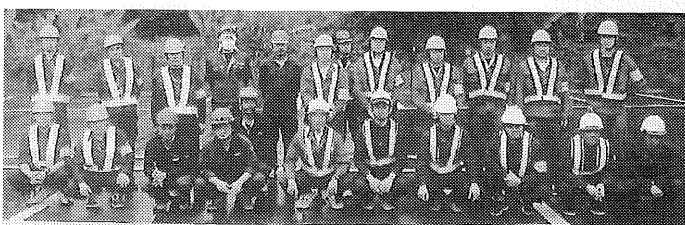
平山建設(株)(杉並)が出動した。

一行は26日(火)朝に東京を出発、途中大阪からはフェリーを利用し、現地到着の27日(水)から1週間作業を行い、5月5日(木)に帰着予定。派遣先は熊本市内、配水管及び給水管の漏水調査及び修繕(道路上のみ)の業務にあたる。班編成は作業員6名(現場代理人、作業責任者、配水管工他)、急復旧隊。

作業車はユニック車(作業車、資材運搬)1台、保安車1台、ダンプロトラック2台の計4台。資材は掘削機小型バックホウ、照明器具、ランマ、排水ポンプ、舗装切断機、発電機、土留材等各一式。また現地では石綿管が点在しているという情報があるため、防護服の準備が必要。

今後は熊本市に第2次、第3次までの追加派遣が予定されている。

【写真・途中フェリーに乗船前に大阪南港での応急復旧隊】



平成28年熊本地震で被災された方々に

心よりお見舞いを申し上げます。

早期の復興をお祈りいたします。

東京都管工事工業協同組合